



平成 29 年 3 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 ストリーム  
代表者名 代表取締役社長 劉 海濤  
(コード番号：3071 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 土屋 敏  
(TEL. 03-6858-8189)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 9 月 7 日に公表した平成 29 年 1 月期の通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 1 月期 通期連結業績予想の修正(平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	23,008	513	500	388	14.27
今回修正予想(B)	22,025	187	173	85	3.16
増減額(B-A)	△982	△325	△327	△302	—
増減率(%)	△4.3	△63.4	△65.4	△77.9	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 1 月期)	23,018	375	376	304	11.18

単位：百万円

2. 平成 29 年 1 月期 通期個別業績予想の修正(平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	13,858	312	287	10.57
今回修正予想(B)	13,090	△23	△32	△1.21
増減額(B-A)	△767	△335	△320	—
増減率(%)	△5.5	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 1 月期)	13,711	158	159	5.84

単位：百万円

### 3. 修正の理由

#### (通期連結業績予想の修正の理由)

当社グループの売上高に関しましては、インターネット通販事業セグメントにおける本サイトの売上減少、ビューティー&ヘルスケア事業セグメント及びその他事業セグメントである各種販売支援事業で展開する国内免税店での販売において、訪日観光客を取り巻く円高進行や中国の関税率の変更等の外的要因による来店客数の減少及び訪日観光客の商品ニーズの変化による購買単価の下落等、厳しい状況が続いておりました。

当第4四半期におきましては、インターネット通販事業で売上改善をすべく本サイト及び各外部サイトで年末商戦施策や顧客へのポイント施策等を積極的に行いましたが計画には届きませんでした。又、各種販売支援事業での春節における計画の未達や、オンライン・ゲーム事業では売上改善のため他社と共同で追加イベント施策も実施いたしましたが、業績を改善するまでには至らず、売上高は前回予想を更に下回る結果となりました。

利益面に関しましては、インターネット通販事業セグメントでの販売戦略の見直しによる利益率の改善やグループ全社で販管費の削減に取り組んだものの、売上高の計画未達による利益額の減少に加え、その他事業セグメントである各種販売支援事業のたな卸資産である訪日観光客用の国際通話用テレホンカードの評価損や、上記、オンライン・ゲーム事業の追加イベント施策による当社分の広告宣伝費の追加等により、利益が減少する見込みであります。

以上により、平成29年1月期の通期業績予想を修正することといたします。

#### (通期個別業績予想の修正の理由)

個別業績予想の修正理由は、連結業績予想に記載のインターネット通販事業セグメント及びその他事業セグメントである各種販売支援事業、オンライン・ゲーム事業の内容と同様であります。

以上